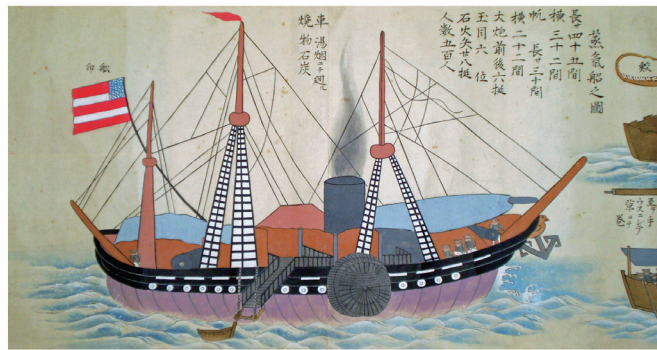




# 総合資料館だより

2010. 7. 1 No. 164

## 黒船来港を描く～『亞米利加ペルリ上陸圖』～



幕末の嘉永6（1853）年、アメリカ合衆国の東インド艦隊司令長官ペリー（ペルリ）が率いる艦隊が浦賀沖に来航しました。『亞米利加ペルリ上陸圖』は、この黒船来航の様子を描いた絵巻物です。久里浜に上陸したペリー艦隊が整然と行進する様子や、浦賀沖に停泊する蒸気船、ペリーが浦賀奉行と会見した陣屋等が描かれています。

ペリー来航を描いた絵図は多数現存していますが、この絵巻物は奥書に「明治卅四年六月得之 缺畫ノ所ハ東京帝國大學御藏本ヲ以補之 林縫之助修補ス」とあります。林縫之助とは、出版社、吉川弘文館の二代目代表・支配人で、林縫之助の蔵書印も押印されています。この奥書から、明治34（1901）年にこの絵巻物入手した林が、絵の欠損部分を東京帝国大学（東京大学）の所蔵品を参考にして補ったことがわかります。

この資料は、7月24日～8月22日まで開催する「語り継ぐ幕末・維新の京都」展に出品する予定です。また、当館ホームページの貴重書データベースでもご覧いただくことができます。

目次	黒船来港を描く～『亞米利加ペルリ上陸圖』～	1
	文献課の窓から「明治期の『橋梁寫真帖』より」	2
	歴史資料課の窓から「初代京都駅を探る」	3
	全史料協 全国（京都）大会のご案内	5
	最近の収集資料から（平成22年3月～5月）	6
	歴史資料カレッジのご案内	8
次	展覧会のお知らせ	9
	友の会事務局から 日誌 利用案内	10

## 明治期の『橋梁寫眞帖』より



山家橋



大堰橋



芦淵橋

今回ご紹介する『橋梁寫眞帖』は京都府が作成したもので、主に明治期後半に府内の河川に架けられた橋の写真が39枚収録されています。南部では淀大橋、宇治橋、中北部では船井郡の大堰橋、何鹿郡の以久田橋・山家橋（由良川）、天田郡の芦淵橋（土師川）・上川口橋（牧川）、竹野郡の溝谷橋（溝谷川）など広範囲にわたっています。工事の途中で足場が付いている状態を写した写真もあります。

さて、明治という時代は、まだ普通選挙が行われておらず、京都府の知事は国から官吏として選ばれ総勢10名がその任につきました。

そして、京都市中の町組改変、小学校設立、三高誘致、種痘所による天然痘の予防、盲阿院・療病院開業のほか、琵琶湖疏水、京都宮津間車道、京都舞鶴間鉄道、蹴上発電所等の土木事業、舎密局・京都染工講習所設立、京都博覧会、内国勸業博覧会など、40数年の間に次々と大事業が遂行されました。また、二度の戦争を経て第十六師団等の軍隊が置かれたのもこの時代でした。こうした様々な事業を実現するには江戸時代から蓄えられた民間の力があつたことはもちろんですが、多くの真剣な論議の積み重ねが必要でした。

第2代榎村知事（就任期間：明治8～14年）は第1回京都府会の演説の中で「政治について議

論する立場にある者、また、政治を実際に行う立場にある者の唯一の目的は、民衆の生活を安定させることにあり、議員は府会で議論する案件に制限はあるものの、机上の空論をめぐらしたり、目先の利害にとらわれることなく、長期的な視野のもとに、実情をみきわめて府政の議論を尽くすべきである（政を議する者政を施す者其の意思の嚮う所唯民を安するの一点に止るのみ然り而して時に相背馳するの患なき能はざる者あるは何故是れ他なし机上の想像実地の履行或は眼前の便否を見或は遠大の利害を図るとの異なるにあるなり今府会の議する所案に制限あり遍く大小の庶政を論する得すと雖とも希くは諸議員心を実地に潜め慮を遠大に回らし懇に其議を盡せよ）」と述べています。

また、明治期最後の第10代大森知事（就任期間：明治35～大正5年）は、山や河川が多く交通不便な北部の農村に着目し、重要な交通施設である橋の整備に尽力しました。

『橋梁寫眞帖』の表紙には、中折れ帽をかぶりスーツを着こなした男性が橋の上に座っている写真が使われています。残念ながらこの人物についての説明はありませんが、写真の橋の竣工時期はほとんどが明治期後半であること、またこのような寫眞帖の表紙に掲載された人物であるということからみて、大森知事であってもおかしくはありません。だとすれば知事が見つめていたものは何だったのでしょう。大森知事の在任中、時代は大正へと入っていきます。



『橋梁寫眞帖』表紙左下にある写真

- ・参考資料『京都の歴史』京都市 1979-80  
『京都の医学史』京都府医師会 1980  
『京都府誌』京都府 1915  
『京都府会議録事附日誌 明治12年』京都府会  
『京都教育史 上』京都府教育会 1940  
『京都府議会目で見える百年』京都府議会 1980
- ・写真は 『橋梁寫眞帖』京都府 より
- ・榎村知事の演説口語訳は『世紀をむすんでひらく展覧会 京都府この100年』京都府 2000 より

## 初代京都駅を探る —写真資料等を手懸りとして—

総合資料館には、明治年間からの古写真が数千点あり、出版物などに利用されています。そのなかでよく使われるものに矢野家写真資料No.66の初代京都駅の写真があります。この写真は、『京都慕情』（発行：京を語る会）では竣工直前の撮影と推測されている貴重なものです。今は見ることでできない建物であるため、ともすればその外観だけが注目されがちですが、駅の位置、駅舎の建物、線路の配置等、駅の全体について、館内にある資料を使って探ってみましょう。

現在の京都駅の建物は、明治10（1877）年2月に建てられた駅舎から数えると4代目に当ります（プラットホーム等には2代目の建物・施設も残ります）。大正3（1914）年8月に竣工した2代目の駅舎からは同じ場所で建て変わっていますが、初代京都駅（「七条ステーション」などと呼ばれる）の所在地は現在のものより150メートルほど北東にありました。駅の住所は、開業後の明治12年に京都市内に組み込まれましたが、建設前には葛野郡東塩小路村で、同地の明治5年頃の地図（『叢書京都の史料2 若山要助日記下』所収）を見ると一面に田畑の広がる場所でした。

近畿地方の鉄道の歴史は、明治7年に官設鉄道の神戸－大阪間が開業したことに始まります。次いで、明治9年9月には大阪－京都間が仮営業しました。この時点ではまだ京都駅が完成していなかったため、大宮通附近に仮駅が作られました。駅舎の竣工を待って本駅に移転し、明治10年2月5日に天皇の臨幸を仰いで開業式が行なわれました。その様子は三代目広重による「西京神戸之間 鉄道開業式 諸民拝見之図」と題される錦絵（『明治大正図誌10 京都』所収）に残りますが、駅舎と線路の配置などは実際の姿とは異なり、想像上の絵だといえます。

駅舎の位置は、明治17年頃の「下京区東塩小路町地籍図」（京都府行政文書）を見ると、東洞

院通と烏丸通の間、塩小路通（三哲通）の南側に空地があり、その場所といえます。江戸時代には東洞院通が京都の南北を通る中心道路でしたので、それを意識した立地です。将来的に線路を大津方面に延ばしていくためにも、東山を越えて山科盆地に容易に出られる京都の町の南側に駅を造る必要がありました。七条通の南側まで町屋等が密集していて、塩小路通附近から南は田畑でしたので、そこが選ばれました。駅の設置により、駅前には東西に三哲通が整備され、七条通の南までしかなかった烏丸通が三哲通まで延長され、市内から駅への道も整備されました。

駅地の造成に際しては、塩小路村の南から東を廻っていた御土居の土砂も使われました（京都府行政文書）。御土居は豊臣秀吉が京都に築いた惣構え（土居と堀）で、江戸時代にも町奉行所の管理下で保護されてきました。建物の石材には愛宕郡一乗寺村の白川石が使われました（同文書）。

駅舎は、煉瓦造り（一部石造り）2階建ての洋風建築で、中央に時計塔、両翼の先端部分を突き出した左右対称の建物で、前面に庇が付き、京都で最初の本格的な洋風建築でした。煉瓦積みは堅牢なイギリス積みで、明り取りを兼ねた大きな窓にはガラスが嵌められました。

京都駅の構造は、大津方面への延伸を計画に置いていたため、新橋駅や神戸駅のような頭端式ではなく、大阪駅と同じく通過型の駅に作られ



初代京都駅（矢野家写真資料 No.66）

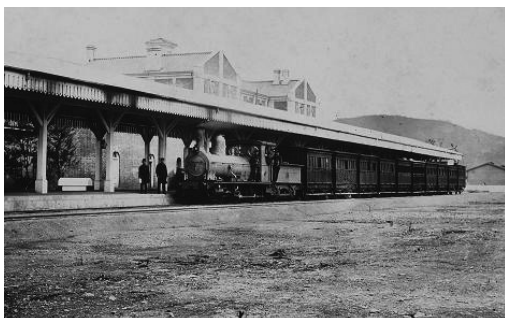


ました。事実、明治11年からは京都・大津間の工事が始まり、翌年には京都・大谷間が仮営業をしています。

駅構内の様子についてはよくわかりませんが、開業時の神戸駅・新橋駅等の図面を見ると、停車場、駅長官舎、外国人官舎、職工官舎などの建物があり、同じような様子だったと思われます。線路は駅構内では数本に分かれ、機関車庫、客車庫、転車台、給水施設、石炭庫、ランプ小屋（客車の照明用の石油ランプ等を置く建物。JRの奈良線の稲荷駅に明治13年のものが現存）などもあったことと想像されます。

この他に、初代京都駅の写真には、小川一真撮影写真（『日本鉄道紀要』所収、明治31年発行）、石井行昌撮影写真資料No.77（都ホテルが駅2階西側で西洋料理を始めた明治37年以降のもの）なども知られていますが、いずれも明治年間の後半のもので、明治年間前半に遡る図版類には、京都案内図や地図等に描かれた挿絵があります。銅版画を製作した石田有年も明治26年の京都駅の画を残しています（『石田有年の銅版画』所収）。

矢野家写真資料No.67には京都駅構内の蒸気機関車が写っています。機関車はイギリスのバルカン社製で、動輪は3軸、炭水車（テンダー）を持つ形式で、後に7030型と呼ばれたものです。煙突に「30」の番号が見えます。外国人の運転士と2人の助手、乗降場（プラットホーム）に2名の駅員が写っています。機関車が牽く10両の客車は車両の各左右から出入りする形式のもので、上等・中等・下等に分かれていたようです。乗降場の線路側には2段の石垣に延べ石が並べられ、乗降場には上屋があります。乗降場そのものは土で作られていたと思われます。線



初代京都駅構内（矢野家写真資料 No.67）

路は2列あるように見えます。当時のレールは輸入品で、磨耗すると裏返して使える双頭レールと呼ばれるものです。写真では充分に見えませんが、レールを固定するのに木製の枕木を使っています。

それ以前、明治4年6月の「鉄道敷設について達」と名付けられる布令書（京都府行政文書）には、山々を背景に4両の客車を牽くテンダー式の蒸気機関車が快走する「鉄道蒸気車快走図」が綴じられています。それはイギリスから入手した蒸気機関車の形式図を基にして描かれたものです。明治4年頃の西京鉄道の「鉄道会社規則書」（上田家文書）に載る蒸気機関車の絵（総合資料館だよりNo.154掲載）は、その布令書の図に基づくもので、線路を描かず、機関車の動輪の部分もあいまいなままで、鉄道に関する知識がまだ不十分だったことがわかります。

明治22年には東海道線の東京・神戸間が全通し、明治30年には線路の複線化が完成しました。複線化の工事に前後して、京都停車場の貨物積卸場等の新築、機関車庫等の移転工事も行なわれ、駅の西側には貨物関係の設備が充実しました。京都駅近くの西洞院通塩小路下の西側で発掘された転車台遺構（『つちの中の京都2』参照）は、この時に新設された転車台だと考えられます。烏丸七条にある東本願寺の御影堂、門等の再建時には、木材等を運ぶために京都駅から引き込み線が引かれたこともあり（『東本願寺の至宝展』参照）。

明治28年には駅前に京都電気鉄道が入り、同年に京都鉄道、明治30年に奈良鉄道ができ（京都鉄道、奈良鉄道＜明治38年に関西鉄道に併合＞は明治40年に国有化され、山陰本線、奈良線となる）、京都駅の構内及び周辺部は錯綜してきました。当時の駅構内の様子を描いた図面からは、貨物線や引込み線などの線路も数多くあったことがうかがえます（『京都停車場改良工事紀要図譜』参照）。時代とともに客貨の往来が激しくなり、その機能に見合った新駅が待望されるようになり、明治43年に2代目京都駅の建設が決定されます。

（歴史資料課 大塚 活美）

## 全史料協 全国（京都）大会のご案内

### ◆全史料協の全国大会とは

全史料協とは「全国歴史資料保存利用機関連絡協議会」の略称です。記録資料を保存し利用に供する機関やそれに関わる個人で構成されている団体で、総合資料館も機関会員として加盟しています。全史料協では資料の保存利用について様々な研究や協議を行っており、その活動のひとつとして、年に一度全国大会を開催しています。

平成22年度は、その全国大会が京都で開催されることとなりました。「わたくしたちのアーカイブズ —めざすべき姿—」をテーマとして、平成22年11月24日（水）25日（木）の2日間、京都テルサにて、研修会や講演、研究報告や討議などを行います。

### ◆参加費無料の公開事業

「アーカイブズ」とは記録や資料をまとめて保存すること、またまとめた資料群そのもの、そしてその記録を保管する施設、公文書館といった意味を持ちます。大会テーマ「わたくしたちのアーカイブズ」の「わたくしたち」とは、なにも全史料協の会員だけを指しているのではありません。広くどなたにでも資料の保存利用について考えていただきたいという思いを込めて、今回の全国大会では、どなたでも無料でご参加いただける公開事業を企画いたしました。

11月24日の12時10分からは、国宝修理装こう師連盟など多数の団体の協力のもと、古文書修復の実演が行われます。同時間帯には、全国の公文書館や資料館の職員がそれぞれ一枚のポスターに発表内容をまとめ、参加者の皆さまに提示してお話しするポスターセッションも開催されますので、ご自由にご参加ください。そして14時10分からは、摂南大学名誉教授の上島 有氏をお迎えして、「国宝 東寺百合文書の魅力」と題した記念講演を開催いたします。総合資料館が所蔵する国宝「東寺百合文書」は、東寺に伝来した奈良時代から江戸時代までの膨大な文書群で、まさに古代からの日本を物語る保存記録の集合体、アーカイブズといえるでしょう。その豊かで奥深い魅力をどうぞお楽しみください。

### ◆上賀茂神社でのプレ企画

また、11月20日（土）には、全国大会のプレ企画「賀茂の歴史と文化 —悠久の歴史の中で受け継がれてきた葵の心—」を上賀茂神社の北神饌所（庁屋）で開催いたします（有料）。東京大学名誉教授の橋本政宣氏の講演「賀茂別雷神社と賀茂川」を行い、講演終了後には国宝の本殿・権殿の特別参拝も予定しております。紅葉に彩られた上賀茂神社で、賀茂の長い歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



▲賀茂別雷神社 北神饌所（庁屋）

### ◆全国大会へのお誘い

全国大会では、その他にも大会テーマに沿った企画を多数ご用意しております（有料）。11月24日には「アーカイブズ入門」「古文書整理論」といった研修を行い、11月25日には「図書館から見たアーカイブズ」「公文書館に期待するもの—利用者の立場から—」といった報告で様々な視点からアーカイブズについて考え、それらを踏まえた全体討議を行います。

2011年4月施行予定の公文書管理法では、第1条で公文書を「国民共有の知的資源」と表現しています。今回の全国大会は、それら公文書を扱い記録を保存していくアーカイブズの未来を皆さまと考える重要な機会だと考えております。皆さまにご来場いただき、活発に意見を交換することによって、本大会はより有意義なものとなるでしょう。参加のお申し込み受付は、9月上旬に開始する予定です。多数のご来場を心よりお待ちしております。



## 最近の収集資料から（平成22年3月～5月）



### ◆図書資料

#### <京都>

日本書誌学大系 97 藤井文政堂板木売買文書  
永井一彰著 青裳堂書店 2009 403p

仁和寺蔵本秘蔵記 翻刻・校訂・現代語訳  
[空海著] ノンブル社 2009 12,383p

京都の寺社と室町幕府 細川武稔著 吉川弘文館 2010 8,295,13p

平安京とその時代 朧谷壽編 思文閣出版  
2009 6,473,3p

豊臣秀吉と大山崎 第17回企画展 大山崎町歴史資料館 [編] 刊 2009 40p 寄贈

禁裏領山国荘 坂田聡編 高志書院 2009  
540p

京都御所造営録 造内裏御指図御用記 1  
[勢多章純著] 詫間直樹編 中央公論美術出版 2010 9,300p

京都の御所と離宮 三好和義写真 朝日新聞出版 2009 557p

創立10周年記念誌 長岡京市商工会10周年記念事業委員会編 長岡京市商工会 2009 116p 寄贈

雑俳・川柳京ことば辞典 木村恭造編者 洛西書院2010 213p 寄贈

#### <人文>

ブリタニカ国際年鑑 2010 ブリタニカ・ジャパン 2010 662p

読書世論調査 2010年版 毎日新聞東京本社広告局 2010 117p

BOOK PAGE 本の年鑑 2010-1,2 日外アンシエーツ株式会社編刊 2010 2冊

法制史研究 法制史學會年報 59 法制史学会 2010 1冊

読売年鑑 2010年版,別冊 読売新聞東京本社 2010 2冊

六法全書 平成22年版1,2 江頭憲治郎編集代表 有斐閣 2010 2冊

歴代内閣・首相事典 鳥海靖編 吉川弘文館 2009 12,754,61p

出版・書籍商人物情報大観 昭和初期 復刻 大久保久雄監修 金沢文圃閣 2008 438p

主題書誌索引 2001-2007 中西裕編 日外アンシエーツ 2009 60,915p

近代日本公文書管理制度史料集 中央行政機関編 中野目徹編 岩田書院 2009 1209p

社寺縁起伝説辞典 志村有弘・奥山芳弘編 戎光祥出版 2009 42,510,56p 図版24p

日本仏教編年大鑑 八宗総覧 大久保良峻ほか監修 四季社 2009 5,571p

古写経研究の最前線 シンポジウム講演資料集成 国際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編刊 2010 1冊

ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集 第2～7号 GBS実行委員会編 東大寺 2004～2009 6冊 寄贈

律令国家史論集 栄原永遠男ほか編 塙書房 2010 8,587p

深谷克己近世史論集 第1～5巻 深谷克己著  
校倉書房 2009～2010 5冊 以後継続

近世の死と政治文化 鳴物停止と穢 中川学著  
吉川弘文館 2009 8,291,9p

日本古代人名辞典 阿部猛編著 東京堂出版  
2009 811p

昭和期美術展覧会の研究 戦前篇 東京文化財  
研究所編刊 2009 559p 寄贈

鎌倉時代造像論 幕府と仏師 塩澤寛樹著 吉  
川弘文館 2009 6,350.10p

江戸の絵画 小林忠著 藝華書院 2010  
516,63p

加山又造全版画集 1955-2003 加山又造著 阿  
部出版 2009 199p

\*芥子園画伝 初集・2集・3集 大東急記念  
文庫編 勉誠出版 2009 3冊 寄贈

\*禅林墨蹟拾遺 中国篇・日本篇・解説 田山  
方南著 禅林墨蹟刊行会 1977 3冊 寄贈

\*能装束の色 山口豊著 ふたば書房 1979  
1冊 寄贈

\*伝真言院両界曼荼羅 1～4 石本泰博撮影  
平凡社 1977 4冊 寄贈

\*印の資料は、財団法人京都高等学校から御寄  
贈いただきました。

#### <官庁>

国際連合世界人口予測 1950→2050 2008年改  
訂版 国際連合経済社会情報・政策分析局人口  
部編 原書房 2010 2冊

人口動態統計 平成20年上・中・下巻 厚生労働  
省大臣官房統計情報部編刊 2010 3冊

労働統計年報 第61回(平成20年) 厚生労働  
省大臣官房統計情報部編 労務行政 2010  
12,378p

水害統計 平成20年版 国土交通省河川局編刊  
2010 336p 寄贈

建築統計年報 平成21年度 国土交通省総合政  
策局情報安全・調査課建設統計室監修 建設物  
価調査会 2010 899p

木材需給と木材工業の現況 平成20年版 日本  
住宅・木材技術センター 2009 212p

第5次伊根町総合計画 ひとが生き生き 伊根  
町総務課編 伊根町 2010 85p 寄贈

城陽市統計書 平成21年版 城陽市総務経済環  
境部総務電算情報課編刊 2010 84p 寄贈

京都市高速鉄道東西線建設小史 二条・太秦天  
神川間 京都市交通局[編]刊 2009 143p  
寄贈

京丹後市織物実態統計調査 平成20年 京丹後  
市商工観光部商工振興課[編] 京丹後市 2010  
22p 寄贈

京都人権啓発推進会議25年のあゆみ 京都人権  
啓発推進会議設立25周年記念冊子 京都人権啓  
発推進会議編 京都人権啓発推進会議・京都府  
人権啓発推進室 2009 37p

けいはんな学研都市の研究開発 2009 『平成  
20年度研究実態調査』より 関西文化学術研究  
都市推進機構交流・立地部編 関西文化学術研  
究都市推進機構 2009 138,4p

京都府林業統計 平成21年版 京都府農林水産  
部[編]刊 [2009] 149p



## 22年度歴史資料カレッジのご案内

当館では平成21年度から、古文書、行政文書、写真など幅広い分野の館蔵資料を使用して京都の歴史に関する講義を行う「歴史資料カレッジ」を開催し、たくさんの方にご参加いただいています。

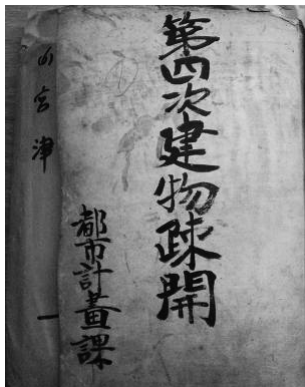
今年度も前期、後期にわけて開催を予定しています。要項は下記のとおりです。ふるってご参加いただきますようご案内申し上げます。



前年度の歴史資料カレッジ講義風景

### 平成22年度 歴史資料カレッジ前期（・後期）日程表

	回	月 日	タイトル（仮題）	講師
前期 (平成22年 9月)	1	9月2日(木)	「私の家も『疎開候補』だった -戦時下京都府の建物疎開を考える-」	井口 和起 (総合資料館長)
	2	9月9日(木)	「久美浜代官所領の御用留にみる丹後・但馬・美作」	山田 洋一 (総合資料館職員)
	3	9月30日(木)	「『郡村誌』でみる近世・近代の八幡 -京都府立大学の現地調査-」	東 昇 (京都府立大学准教授)
後期 (平成23年 3月)	4	3月3日(木)	「御用状を読む -旗本天野氏上方代官森島家の文書から②-」	島津 良子 (奈良女子大学講師)
	5	3月10日(木)	「京都府が建てたもの -府庁・学校・施設-」	福島 幸宏 (総合資料館職員)
	6	3月17日(木)	「東寺百合文書にみる京都の諸断面」	池田 好信 (総合資料館職員)
時 間	いずれも14:00～16:00		定 員	前期後期とも200名
会 場	京都府立大学本館 合同講義棟3階 第3講義室 (京都市左京区下鴨半木町) (ただし平成22年9月9日の講義のみ同大学内大学会館多目的ホール)			
受付期間	前期分募集 平成22年8月9日(月)～8月26日(木) [消印有効]			
	後期分募集 平成23年2月7日(月)～2月24日(木) [消印有効]			



「京都府行政文書」(写真左)と「岡田家文書」(写真中・右) (いずれも総合資料館蔵)



## 問い合わせ先・申込方法・申込先・受講料

- 問い合わせ先 京都府立総合資料館庶務課  
住所 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4 (TEL.075-723-4831)
- 申込方法 ハガキ・FAX・メールのいずれかに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号をご記入のうえ、下記宛先までご応募下さい。  
なお、電話でのお申し込みは受け付けておりません。ご応募は先着順に受け付け、定員を超えて受講していただけない方のみご連絡いたします。
- 申込先 ・ハガキ 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4 京都府立総合資料館庶務課  
・FAX 075-791-9466  
・メール shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp
- 受講料 無料  
会場には駐車場の用意がありませんので、公共交通機関をご利用ください。  
(特に事情がある方はご連絡ください)



国宝「東寺百合文書」(写真左)と「旧一号書庫写真資料」(写真右)(ともに総合資料館蔵)

- ・その他に、古文書入門教室を11月30日(火)～12月2日(木)に予定しています。詳しくは当館ホームページ、「総合資料館だより」10月号等でお知らせします。また、地域に残る古文書などの資料の解説、整理取り扱いなどの講習のご要望があれば、職員が出張して行いますので、ご希望の方はお問い合わせください。

### 展覧会「語り継がれる幕末・維新の京都」

19世紀後半の幕末・維新の時代は、日本の近代国家の始まりの画期として、現在に至るまで絶えず振り返られ、その中で、各時代・各人の幕末・維新像が形作られ、広められてきました。

今回の展示では、幕末・維新の京都に焦点を当てながら、それがどのように語り継がれてきたかを資料館所蔵資料の中から振り返ってみます。

幕末・維新时期に活躍した人たちの世代交代期に当たる19世紀末(明治30年前後)、慶応4年(明治元年)からの60年(還暦)の節目を迎えた1928年頃、100年目の1968年頃、それから以降の各時期に編まれた書籍や顕彰の記録、写真などを通して、幕末・維新像がどのように語り継がれてきたかを展示します。

- ◆会期 平成22年7月24日(土)～8月22日(日)  
(8月11日(水)は休館)

午前9時～午後4時30分

- ◆会場 京都府立総合資料館 2階展示室(入場無料)

#### ◆展示内容

##### ◇幕末・維新の京都

亜米利加ペルリ上陸図、河州交野郡楠葉村関門  
絵図、人のうわさ など

##### ◇30年・60年後の幕末・維新像

京都附近殉難人墓取調書、新撰組往時実戦談書、坂本龍馬関係物品寄附伺行政文書、中岡慎太郎・坂本龍馬像写真 など

##### ◇100年後以降の幕末・維新像

京都府開庁100年記念式典、京都府民の暮らし百年、「新撰組!」展覧会図録 など

#### 関連講座

○8月4日(水) 午前10時～

演題:「坂本龍馬はどこで殺されたのか-京都幕末史蹟の顕彰から検証へ」

講師:中村 武生氏(歴史地理史学者/立命館大学非常勤講師)

○8月17日(火) 午前10時～

演題:「維新観としての「志士」と京都」

講師:笹部 昌利氏(佛教大学・京都産業大学非常勤講師)

※ 会場はいずれも京都府立大学 大学会館 定員:150名(無料、先着順)

## 友の会事務局から

◎平成22年度の友の会会員は、5月14日現在で233人です。

性別	継続	新規	計
男性	137人 (58.8%)	11人 (4.7%)	148人 (63.5%)
女性	79人 (33.9%)	6人 (2.6%)	85人 (36.5%)
計	242人 (92.7%)	17人 (7.3%)	233人 (100%)

◎平成22年度の役員会を、5月19日(水)に開催しました。

この役員会で平成22年度の事業計画が次のとおり決定されました。

- ・現地講座(春期)
- ・見学会(秋期)
- ・総合資料館府民講座(総合資料館と共催)
- ・総合資料館だよりの頒布(年4回)
- ・京都文化博物館及び池大雅美術館の入館料割引

◎平成22年度現地講座を、5月18日(火)に並河靖之七宝記念館において開催しました。

- ・会場 並河靖之七宝記念館(東山区)
- ・参加者 68人
- ・概要 同館学芸員から、京都七宝の歴史や七代目小川治兵衛作の庭園についての説明の後、作品展示や工房跡等を見学

## 古文書相談のご案内

○古文書の内容や解説についての相談  
郵送による事前申込。申込方法の詳細については、次へお問い合わせください。

問合せ先：当館歴史資料課 TEL 075-723-4834

## 日誌(平成22年3月～5月)

- 2.27(土)～3.28(日) 収蔵品展
- 3.7, 14, 21(日)  
歴史資料カレッジ(後期)
- 3.25(木) 寺子屋講座  
「知ろう!つくろう!北山杉」
- 5.18(火) 友の会現地講座

## 利用案内

- 休館日 祝日法に規定する休日、  
毎月第2水曜日、資料整理期、  
年末年始(12月28日～1月4日)  
〔7月～9月の休館日〕  
7月14日(水)、19日(月・祝)  
8月11日(水)  
9月8日(水)、20日(月・祝)、23日(木)、  
29日(水)、30日(木)

今年度の資料整理を9月29日(水)から10月13日(水)までの間、予定しております。  
正式決定後、改めてお知らせします。

- 開館時間 午前9時～午後4時30分  
交通 京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車  
市バス④、(北8)・北山駅下車  
京都バス④⑤、④⑥・前萩町下車  
ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

\*総合資料館メールマガジンでは、当館所蔵資料に関する様々な情報を発信しているほか、  
展覧会・府民講座のご案内等をいち早く皆様  
にお届けしています。ぜひ御登録ください。  
(登録はこちらから)  
<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/maga.html>

発行 京都府立総合資料館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991) TEL. 075-723-4831 FAX. 075-791-9466

○本誌に対するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。